

SOFTIMAGE® | XSI™

Essentials/Advanced

インストールガイド

Version 6.01 for Windows XP service pack 2

簡易版

※本インストールガイドは、Windows システム管理者向け簡易版です。詳細版ご希望の方は、下記の URL からダウンロードできます。

http://www.comtec.daikin.co.jp/DC/prd/si/support/xsi/v60_spcl/

※本インストールガイドは、商用版 Essentials/Advanced 及び Advanced（教育機関用）向けです。Foundation 及び学生・教員版のインストールにつきましては以下の URL をご参照下さい。

http://www.softimage.jp/support/help/xsi6_FNDinstall.html

※このインストールマニュアルの記述は、XSI v6.01 ダウンロード版からのインストールを前提に記述しています。DVD-ROM 版あるいは今後のマイナーバージョンアップ等では、若干記述と違う部分もあると思われます。もし、インストール中に分からないことがございましたら、弊社 Softimage サポートセンターまでメールまたは FAX にてお問い合わせ下さい。（お問合せ先は、本インストールガイドの最後のページに記載されています）

※サポート情報、ダウンロード、インストール、FAQ などの技術情報が以下の URL でご覧になれます。

<http://www.softimage.jp/support/>

http://www.comtec.daikin.co.jp/DC/prd/si/support/xsi/v60_spcl/

ダイキン工業株式会社
電子システム事業部
第二部 ソフトイメージサポートセンター

目次

1. はじめに.....	2
2. XSI 6.01 のインストール	3
2-1. インストール前に	3
2-2. ライセンスサーバーとドライバのアンインストール(XSI v2.0～v5.11 からのバージョンアップの場合)	3
2-3. XSI 6.01 本体とライセンスサーバーのインストール	4
2-4. USBポート接続 dongle のセットアップ	7
2-5. シリアルポート接続 dongle のセットアップ	9
2-6. XSI 6 ライセンスの取得(自動ダウンロード)	11
2-7. XSI 6 ライセンスの取得(ダイキン工業ホームページからのライセンスリクエスト)	15
3. SOFTIMAGE XSI の環境設定	21
3-1. ユーザーアカウントについて	21
3-2. 環境変数の設定	21
3-3. タスクバーのプロパティの設定	22

1. はじめに

1-1. システム要件を下記サイトにてご確認ください。

7ビットテクノロジー社サイト：<http://www.softimage.jp/xsi/6/SysReqs/index.html>

Softimage社サイト：http://www.softimage.com/products/xsi/system_requirements/

※ **重要**：Windows Vista につきましては、まだ正式には対応しておりません。動作保証外となりますのでご注意ください。

1-2. マシンの日付と時刻、画面プロパティ、ネットワーク設定(TCP/IP,マシン名)をご確認下さい。

1-3. XSI v6.01 は、旧バージョン(v1.0 ~ v6.0)および SOFTIMAGE|3D と共存できます。業務を完全に v6.01 に移行されるまでは旧バージョンを残しておかれることをお勧めします。

1-4. インストール作業は管理者権限を持っているユーザでログインして作業して下さい。

1-5. XSI v6 ライセンスを取得するにはライセンスサーバになるマシンがインターネットに接続された環境が必要です。接続されていない場合は、接続可能な他のマシンからライセンスファイルをダウンロードいただくか、弊社 Web 上のライセンスリクエストフォームをご利用下さい。

ダイキンCOMTEC、ライセンスリクエストページ：<http://www.comtec.daikin.co.jp/DC/prd/si/support/>

2. XSI 6.01 のインストール

2-1. インストール前に

<新規インストールの場合>

単一のインストーラで、ライセンスサーバー(spm)、XSI v6.01 本体、レンダリングサーバーがインストールできます。

ライセンスサーバーをインストールする場合は、ライセンスサーバー(spm)とドングルドライバのインストール後、USB ポートにドングルを接続してください。(以下のインストール手順をご参照下さい)

※重要！！ ドングルは、マシンの USB ポートに直接接続します。USB ハブの使用は避けて下さい。

<XSI v2.0～v5.11 からのバージョンアップの場合>

- ※ XSI v6.0 からライセンスサーバが変更になっております。従来のライセンスサーバはアンインストールし、XSI v6.0 または v6.01 のインストーラから新たにライセンスサーバをインストールして下さい。(新しいライセンスマネージャから v6 用ライセンスが取得できます)
- ※ USBドングルをお使いの場合は、ドングルドライバの更新も必要です。以下の手順であらかじめ削除しておいて下さい。
- ※ シリアルドングルをお使いの場合は、コンフィグレーションファイルの設定も必要です。後半の手順をご参照下さい。

v2.0～v5.11 が既に導入済みで、今回、v6.0 または v6.01 にバージョンアップされる方は、v2.0～v5.11 のときのドングル(USB またはシリアルポート用ドングル)をそのままお使いいただけますが、これまでのライセンスサーバ(spm)とドングルドライバはアンインストールし、後述の手順でライセンスサーバー(spm)を再インストールし、v6 用のライセンスファイルを取得して下さい。

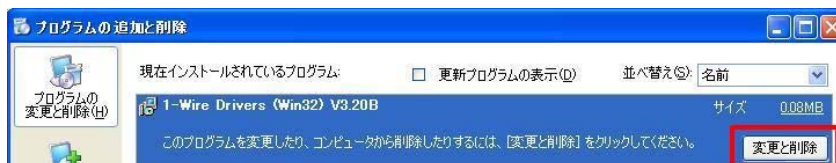
単一のインストーラで、ライセンスサーバー(spm)、XSI v6.01 本体、レンダスレーブ(mental ray)がインストールできます。ライセンスサーバをインストールすると、ドングルドライバも自動的にインストールされます。

2-2. ライセンスサーバーとドングルドライバのアンインストール(XSI v2.0～v5.11 からのバージョンアップの場合)

XSI v2.0～v5.11 のときのドングル(USB またはシリアルポート用ドングル)をそのままお使いいただけますが、これまでのライセンスサーバー(spm)はアンインストールし、XSI v6.01 のインストーラからライセンスサーバー(spm)を再インストールし、v6 用のライセンスファイルを取得します。

- ① 念のため、既存のライセンスデータベース(¥WINDOWS¥system32¥spm¥spm-kf)をバックアップします。または、オリジナルのテキスト形式のライセンスファイルがあれば復元可能ですので、そちらのバックアップでも構いません。
(spm-kf ファイルは隠しファイルですので、エクスプローラーのフォルダオプションから"すべてのファイルとフォルダを表示する"を ON にしておいて下さい)
- ② spm-kf を削除します。

- ③ [スタート] → [すべてのプログラム] → [Softimage Products] → [SOFTIMAGE Licensing] → [Lictools] から [Stop Server] ボタンをクリックします。
- ④ [スタート] → [すべてのプログラム] → [Softimage Products] → [SOFTIMAGE Licensing] → [Setup] を起動すると削除の確認のダイアログが表示されますので [OK] で進んで下さい。spm がアンインストールされます。
- ⑤ USB ドングルをお使いの場合は、ドングルドライバもアンインストールします。[スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除]を選択し、インストールされているプログラムの中から [1-Wire Drivers (Win32)] を選択し、[削除] を選択します。



- ⑥ マシンを再起動して下さい。この時、ドングルを外して再起動して下さい。

2-3. XSI 6.01 本体とライセンスサーバのインストール

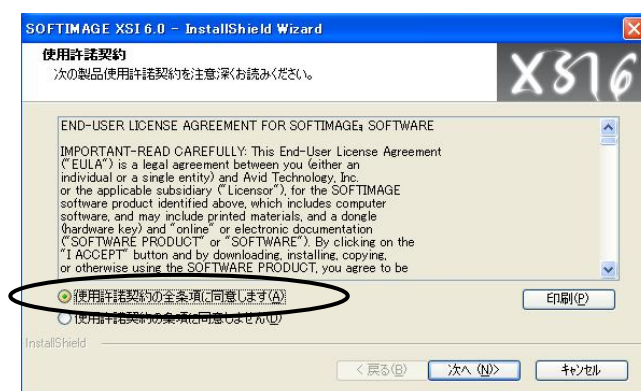
単一のインストーラで、ライセンスサーバ(spm)、XSI v6.01 本体、レンダリングサーバがインストールできます。

※ インストーラを起動する前に、ドングルを外しておいて下さい。

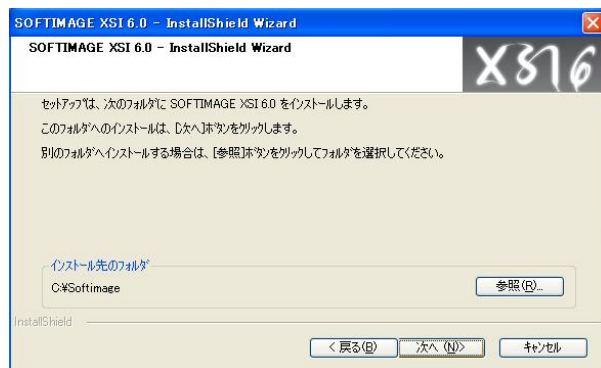
- ① インストーラを実行します。32bit の場合は、setup_XSI_6.01_Win32.exe、64bit の場合は、setup_XSI_6.01_Win64.exe をダブルクリックして実行します。



- ② [仕 様許諾契約]を確認し、ご同意いただけるようでしたら[使用許諾の全条項に同意します] を選択し[次へ]をクリックします。



- ③ XSI v6.01 のインストール先を指定します。インストール先を変更する必要がなければ [次へ] をクリックします。([参照] をクリックするとインストール先を変更できます。ただし "Program Files" のように名前にスペースを含むフォルダ、また日本語を含むフォルダをインストール先に指定しないで下さい。)



④ インストールするパッケージを選択します。

- **XSI Essentials か Advanced (デフォルト):** XSI v6.01 本体をインストールします。この後のステップでさらにライセンスサーバのインストールもするかどうかの選択がありますので、通常はこちらを選択して下さい。
- **レンダスレーブとしての mental ray:** 分散レンダリング用に mental ray のみをインストールします。
- **ライセンスサーバのみ:** ライセンスサーバ(spm)のみをインストールします。

この後の手順では、[XSI Essentials か Advanced (デフォルト)]を選択した場合の手順を示しています。



⑤ セットアップのタイプを選択します。[通常インストール(デフォルト)]を選択して下さい。



<カスタムインストールの場合>

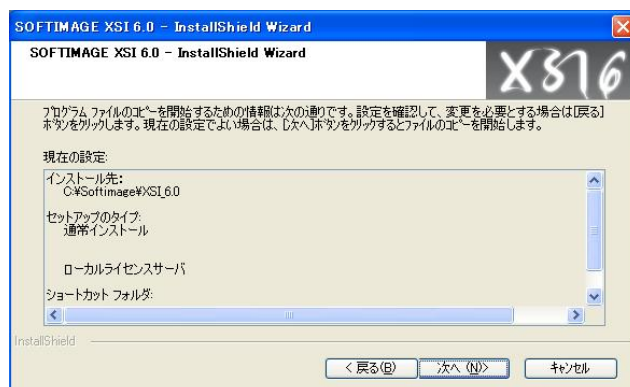


- ⑥ ライセンスサーバのインストールをするかどうかの設定を行います。
- このコンピュータをライセンスサーバとして使う(デフォルト): XSI v6.01 と一緒にライセンスサーバもインストールします。
 - 別のコンピュータで実行されているライセンスサーバを使う: XSI v6.01 のみインストールします。

この後の手順では、[このコンピュータをライセンスサーバとして使う(デフォルト)]を選択した場合の手順を示しています。



- ⑦ これまでの設定の一覧が表示され、良ければ「次へ」で進むとインストールが始まります。



- ⑧ ファイル転送が終了すると、以下のようなダイアログが表示されますが、ここでは、両方ともチェックを外し、[完了]ボタンを押します。



ライセンスサーバとなるマシンの場合は、続いて dongle のセットアップを行います。使用する dongle のタイプによって手順が異なりますのでご注意ください。USBポート接続 dongle の場合は「2-4. USBポート接続 dongle のセットアップ(P.7)」に、シリアルポート接続 dongle の場合は「2-5. シリアルポート接続 dongle のセットアップ(P.9)」に進んで下さい。

2-4. USBポート接続 dongle のセットアップ

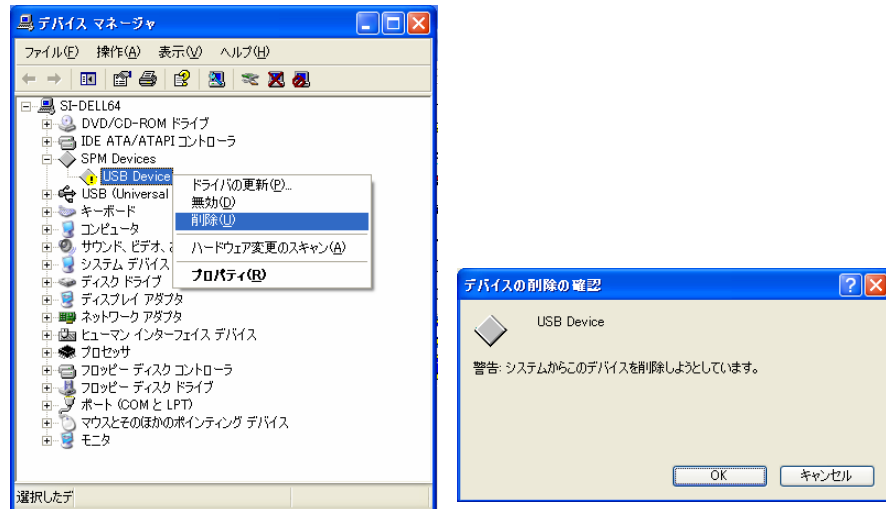
USB接続タイプの dongle の場合は以下の手順でセットアップを行って下さい。シリアルポート接続タイプの dongle の場合は「2-5. シリアルポート接続 dongle のセットアップ(P.9)」に進んで下さい。

- ① ライセンスサーバとなるマシンの USB ポートに USB dongle を接続します。
重要！！： USB ハブは使用せず、マシンの USB ポートに直接接続して下さい
- ② しばらくすると図のようなメッセージが表示されます。[いいえ、今回は接続しません]にチェックをいれ、[次へ]を押します。

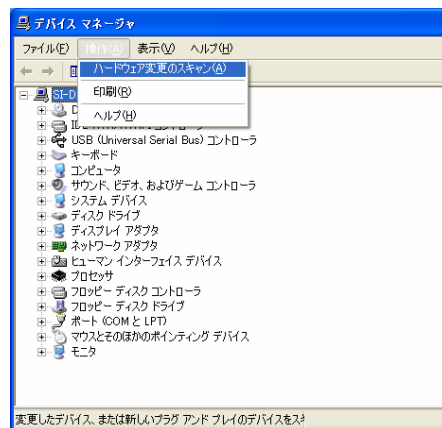


このメッセージが出てこない場合は次の手順を行って下さい。

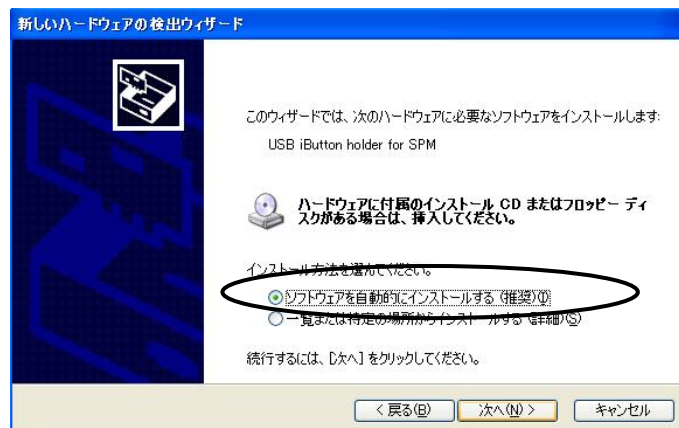
1. [スタート] → [コントロールパネル] → [システム] を選択します。「[ハードウェア]」タブを選び、「デバイスマネージャ」を開きます。
2. [SPM Device] 内の不明なデバイス で右クリックし、「削除」を選びます。



3. デバイスマネージャの [操作] → [ハードウェア変更のスキャン] を実行します。



- ③ [ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)]にチェックをいれ、[次へ]を押します。適切なドライバが自動的にインストールされます。



※ ドライバの位置を指定してインストールする場合、C:\%spm を指定してください。

- ④ インストールが終了すると以下のようなダイアログが表示されます。[完了]ボタンを押して終了します。



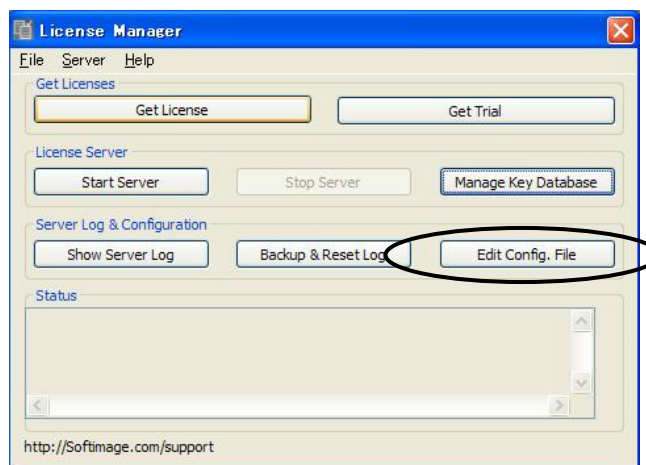
この後、XSI 6 のライセンスを取得します。

- v2.0～v5.11 からのバージョンアップの場合は、「2-6. XSI 6 ライセンスの取得(P.11)」に進んでください。
- 新規にご購入の場合は、「2-7. XSI 6 ライセンスの取得(ダイキン工業ホームページからのライセンスリクエスト)(P.15)」に進んでください。

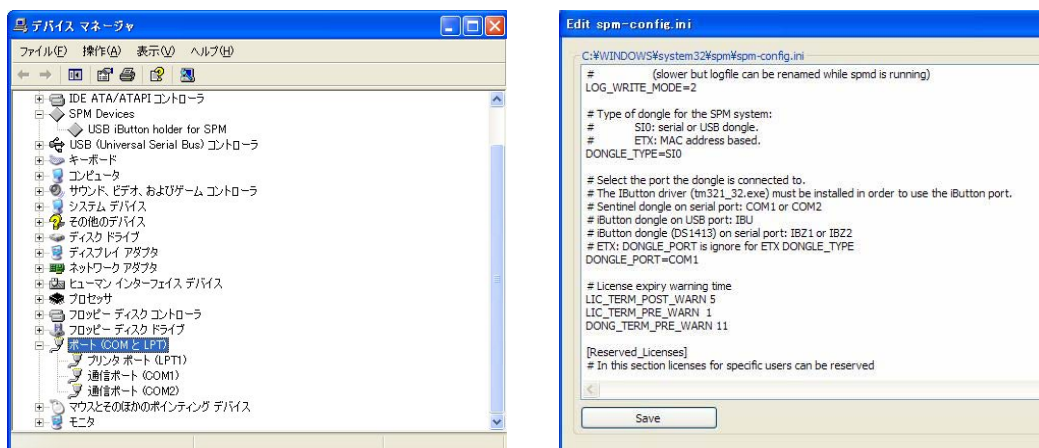
2-5. シリアルポート接続ドングルのセットアップ

シリアルポート接続タイプのドングルの場合は以下の手順でセットアップを行って下さい。

- ① ライセンスサーバとなるマシンのシリアルポートにシリアルドングルを接続します。
- ② [スタート] → [すべてのプログラム] → [SOFTIMAGE Products] → [License Manager]を選択します。



- ③ [Edit Config..File]ボタンを押します。
- ④ コンフィグレーションファイル内の[DONGLE_PORT]の行を[IBU]からドングルを[接続した COM ポートの番号]に書き換えます。USB→シリアル変換アダプタ等を使用されている場合は、COM ポート番号にご注意ください。デバイスマネージャにて、COM ポート番号が確認できます。図は COM ポート 1 に接続しているため[COM1]と記述している例です。書き換えが終了したら[Save]ボタンを押します。



この後、XSI 6 のライセンスを取得します。

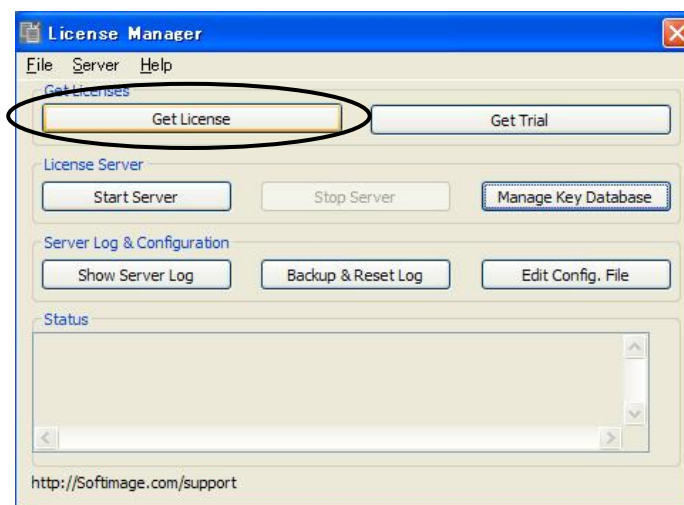
- v2.0～v5.11 からのバージョンアップの場合は、「2-6. XSI 6 ライセンスの取得(P.11)」に進んでください。
- 新規にご購入の場合は、「2-7. XSI 6 ライセンスの取得(ダイキン工業ホームページからのライセンスリクエスト)(P.15)」に進んでください。

2-6. XSI 6 ライセンスの取得(自動ダウンロード)

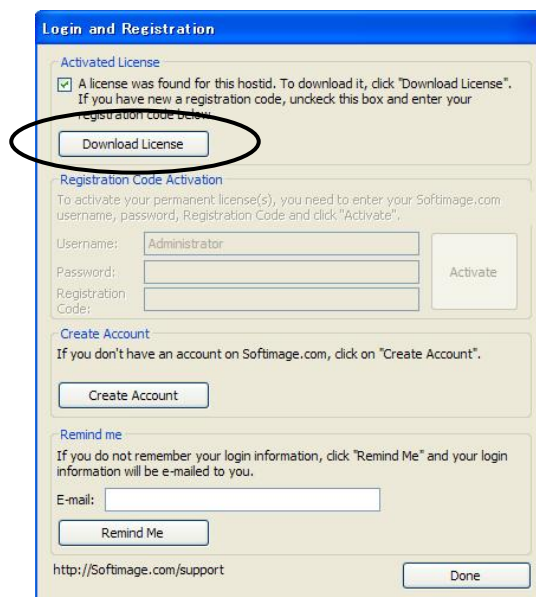
v2.0～v5.11 からバージョンアップされる場合は、既に Softimage 社にリクエストコードがありますので、あらかじめ Softimage 社のサーバーにライセンスが用意され、自動ダウンロードが可能になっています(保守が有効なライセンスに限ります)。

以下で説明されている手法で XSI6 のライセンスを取得するには、ライセンスサーバがインターネットに接続されている必要があります。下記のいずれかに該当するユーザ様はライセンスを別途取得し、手動でインストールする必要があります。

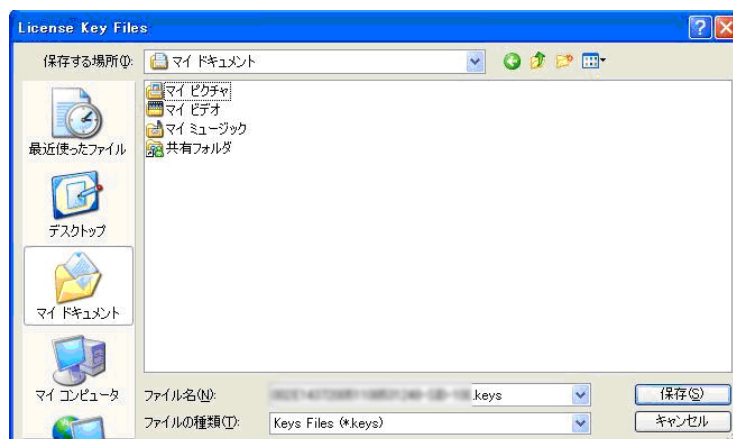
- 1.) ライセンスサーバ がインターネットに接続出来ないお客様
→ インターネットに接続できる他のマシンに一時的にライセンスサーバ設定をしてライセンスをダウンロードするか、「2-7. XSI 6 ライセンスの取得(ダイキン工業ホームページからのライセンスリクエスト)(P.15)」の手順にて、ダイキン工業COMTECホームページからライセンスリクエストを行って下さい。
 - 2.) ライセンスサーバがインターネットに接続されているが、ライセンスが取得できないお客様
→ ご購入時期や保守のタイミングなどで権利をお持ちでもライセンスが取得できないことがあります。「2-7. XSI 6 ライセンスの取得(ダイキン工業ホームページからのライセンスリクエスト)(P.15)」の手順にて、ダイキン工業COMTECホームページからライセンスリクエストを行って下さい。
- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [SOFTIMAGE Products] → [License Manager]を選択し、ライセンスマネージャを起動します。ここから、[Get License]ボタンを押します。



- ② [Download License]ボタンを押します。



- ③ 正常に dongle が認識されると、Softimage 社のライセンスダウンロードサイトにアクセスします。ライセンスが見つかったらライセンスキーのセーブダイアログが開きます。セーブするフォルダを指定し、[保存]ボタンを押します。



※ ここでセーブされたライセンスキー(.keys)は、XSI 6 の起動が確認された時点で削除されても構いませんが、何らかの原因で再インストールが必要になった時のため、そのまま残されることをお勧めします。

- ④ [Your license is now active]の表示が出たら[OK]ボタンを押します。



- ⑤ [Done]ボタンを押し、ライセンスマネージャ画面に戻ります。サーバが起動していない場合は、[Start Server]を押してください。

-
- ⑧ 正常にライセンスがリストアップされたら、ライセンスマネージャ画面に戻り、[File] → [Exit]から License Manager を終了します。
 - ⑨ [スタート] → [すべてのプログラム] → [SOFTIMAGE Products] → [SOFTIMAGE XSI 6.01] → [XSI Advanced]または[XSI Essentials]にて、XSI 6.01 の起動を確認してください。

2-7. XSI 6 ライセンスの取得(ダイキン工業ホームページからのライセンスリクエスト)

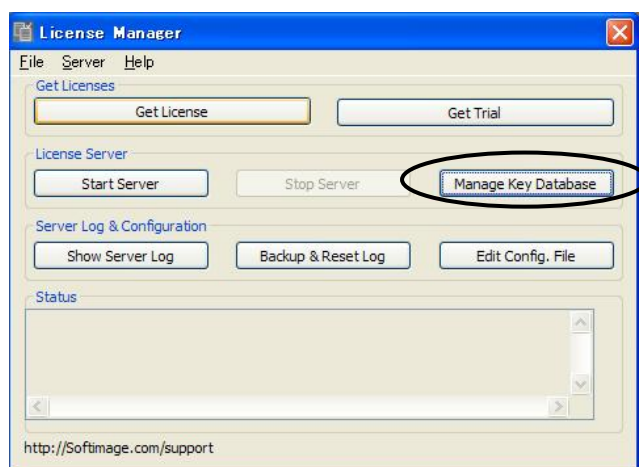
新規にご購入の場合、ライセンスサーバがインターネット接続環境を持っていない場合、「2-6. XSI 6 ライセンスの取得(自動ダウンロード)(P. 11)」の手順で、Softimage社のサイトから自動ダウンロードできなかった場合は、以下の手順で、ダイキン工業ホームページからライセンスリクエストを行っていただくか、弊社 Softimage サポートセンターまでリクエストコードをご郵送下さい。

これらの場合、ライセンス発行まで1週間程度かかる場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

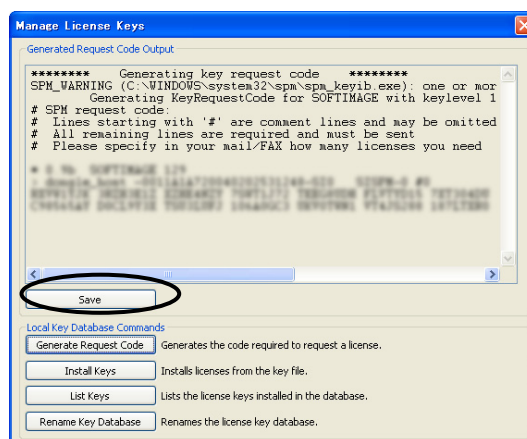
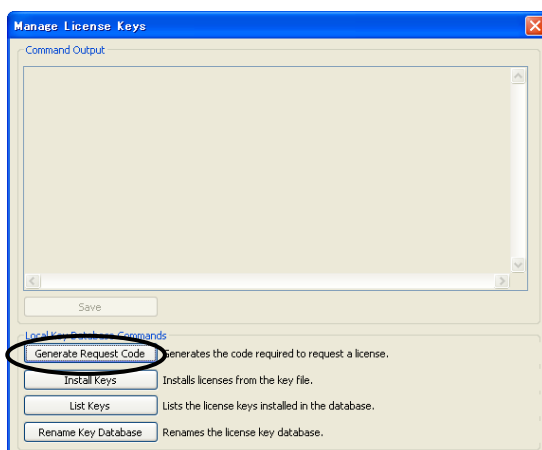
<リクエストコードの生成、送付>

以下の手順でリクエストコードを生成し、ダイキン工業ホームページからライセンスリクエストを行っていただくか、弊社 Softimage サポートセンターまでリクエストコードをご郵送下さい。

- ① 管理者権限でログインした状態で、[スタート] → [すべてのプログラム] → [SOFTIMAGE Products] → [License Manager]を選択し、ライセンスマネージャを起動します。次に、[Manage Key Database]ボタンを押します。



- ② [Generate Request Code]ボタンを押すと、リクエストコードが表示されます。表示されない場合は、ドングルの接続やドングルドライバのインストールをチェックしてみてください。リクエストコードが確認できたら、[Save]ボタンで適当なフォルダにセーブして下さい。(ドングル番号+拡張子 .req でセーブされます)



※ セーブすると[Request code saved to ...]と表示されます。セーブされたファイルを確認してください。

- ③ ライセンスマネージャを閉じます。
 ④ ここから弊社へのライセンスリクエストコードの送付になりますが、手段は以下の2通りになります。

- 弊社ホームページからのリクエストコードの送付
- フロッピーに入れての送付(インターネット環境がない場合)

<弊社ホームページからのリクエストコードの送付>

下記の 弊社ホームページを開きます。

(ホームページに接続するマシンは、今回、XSI v6.01 をインストールするマシンでなくても結構です。リクエスト後、発行されますライセンスファイルは、メールにてお送りしております。)

<http://www.comtec.daikin.co.jp/DC/prd/si/support/>

から「SOFTIMAGE ライセンスリクエスト」にアクセスし、該当するパターンをクリックします。


SOFTIMAGEライセンスリクエスト

下記のパターンよりあてはまるものをお選びください。

- ▶ SOFTIMAGE3D または SOFTIMAGE|XSI Ver.1.5以前のライセンスリクエスト
- ▶ SOFTIMAGE3D または SOFTIMAGE|XSI Ver.1.5以前からSOFTIMAGE|XSI Ver.2.0以降へのバージョンアップ
- ▶ SOFTIMAGE|XSI Ver.2.0以降の新規ライセンスリクエスト、またはSOFTIMAGE|XSI Ver.2.0以降からのバージョンアップ

▼ お使いのSOFTIMAGEのバージョンがわからない時は ▼
 SOFTIMAGE|XSI は help > About SOFTIMAGE|XSI をクリックすると表示されます。
 SOFTIMAGE3D は画面左上のロゴをクリックすると表示されます。

次にこのページにある必要事項をご記入の上、送付してください。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1つのドングルで1つのフォームをお使いください。もし、複数お持ちの場合は複数回お申し込みいただくことになります。 ・ 大量にリクエストいただく場合は、本フォームからではなく、添付メールにてお送りいただいても構いません。その際は、フォームの内容と同じ情報をメールにご記入下さい。(メールによる送り先: license@cg.comtec.daikin.co.jp) ・ リクエストコードは必ずコピーペーストで入力するようにしてください。万が一間違えられた場合にはかなりの時間がかかることが予想されます。
---	--

<フロッピーに入れての送付>

フロッピーに入れてお送りいただく場合には以下の項目を必ず紙に書いてお送りください。

会社名: 部署名: お名前: 電話番号: 送り先住所: メールアドレス(お持ちの場合):	ライセンスをセットするマシンのタイプ: (Windows/Linux/IRIX) ソフトウェア名: (XSI 6.01, Ess/Adv, Batch 等) ライセンス数: 現在お使いのドングル番号: SI3D からアップグレードの場合は旧ドングル番号:
---	--

送付先: 〒108-0075 東京都港区港南 2-18-1 JR品川イーストビル 10 階

ダイキン工業株式会社 電子システム事業部 Softimage ライセンス担当 宛

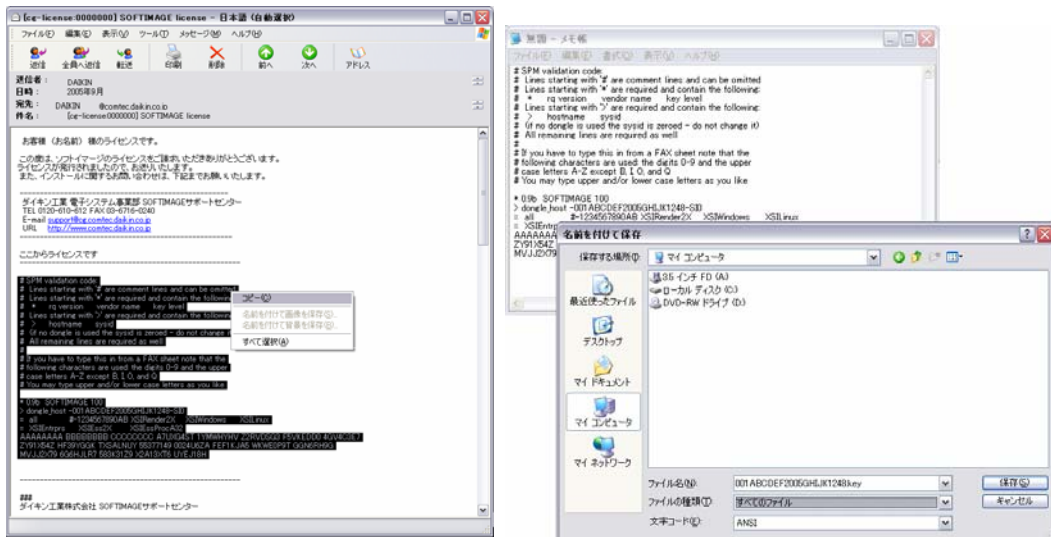
FAX: 03-6716-0240

※ ライセンスの発行には1週間程度かかることもございます。

<ライセンスのインストール>

ライセンスリクエストをおこなっていただいたのちに 弊社よりライセンスキーをお送りいたします。(もしくは、Softimage 社からメールで送られてきます。) このライセンスキーはなくさないように保存しておいて下さい。

- ① ライセンスが、発行されますと、弊社よりこのようなメールが届きます。
- ② メール文中に、ライセンスが記載してあります。文中よりライセンスファイル(拡張子.keys)を作成していただきます。



- ③ "ここからライセンスです"以下をコピー、メモ帳(Notepad)などのテキストエディタに貼付けます。
- ④ ファイル > 名前を付けて保存、「すべてのファイル」にて、拡張子(.keys)ファイルで保存します。こちらが、ライセンスファイルになりますので大切に保管して下さい。
(例:001ABCDEFABCDEFABCDEF1.keys)

以下にライセンスのサンプルです。コピー&ペーストの際にご参照下さい。

- #で始まる行はコメントですので、無くても構いません。
- > dongle_host 行で記述されているコードが dongle 番号になります。リクエストコードにも記述されていますので、相違が無いをご確認下さい。
- 使用されている文字は、0~9、A~Z(B,I,O,Q を除く)となります。それ以外の文字が混じっている場合は、何らかの理由で文字化けした可能性があります。再度、届いたオリジナルのライセンスをご確認下さい。

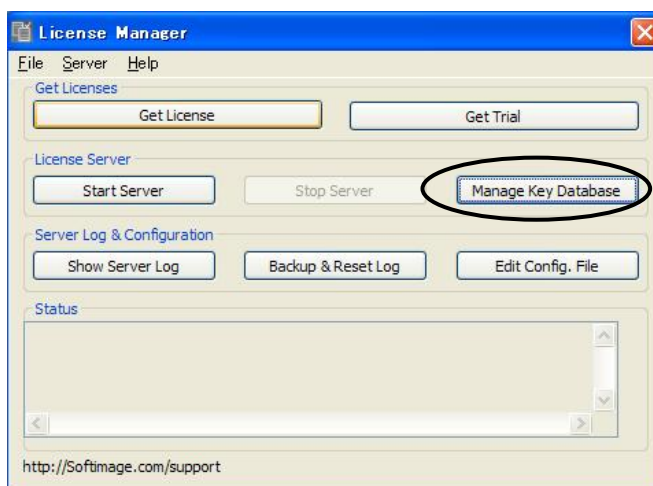
```

# SPM validation code:
# Lines starting with '#' are comment lines and can be omitted
# Lines starting with '*' are required and contain the following:
# *   rq version   vendor name   key level
# Lines starting with '>' are required and contain the following:
# >   hostname    sysid
# (if no dongle is used the sysid is zeroed - do not change it)
# All remaining lines are required as well
#
# If you have to type this in from a FAX sheet note that the
# following characters are used: the digits 0-9 and the upper
# case letters A-Z except B, I, O, and Q
# You may type upper and/or lower case letters as you like

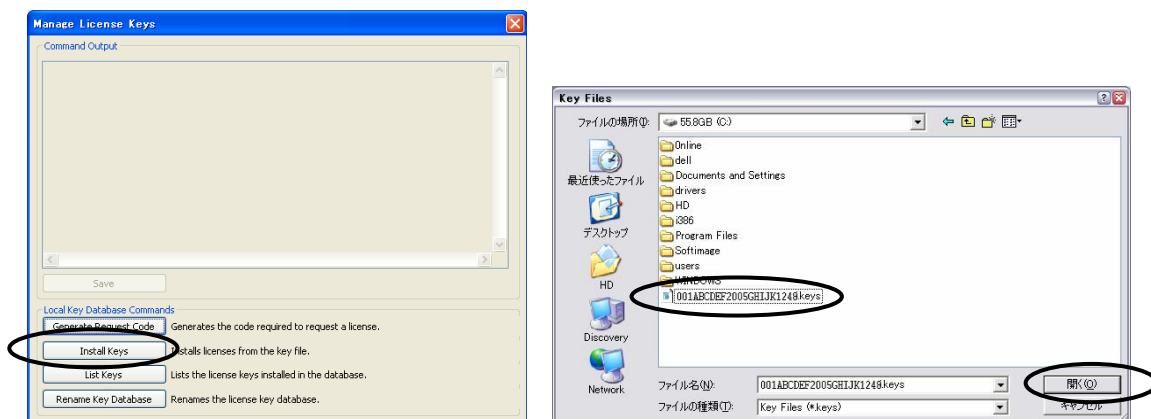
* 0.9b SOFTIMAGE 100
> dongle_host -001ABCDEFABCDEFABCDEF1-S10
= all          #-123456789101 XSIWindows   XSIlinux   XSIAdv2X
= XSIlinux     XSIEntrprs  XSIBatchA   XSIAdvProcA XSIRender2X
CNNGW4E1 MT9PEAXL D143HHTG FY8US2LV 2PWHM5MO ZUR88YE8 9YPJXKRZ AR26FJF5
LMKRW8KO G1DDS160 SPVGS4MK 460VWV35 YK5U3UV 6FAVW4K ZN5SDFDG P1UH1716
V7R16K1J K3M6U9H6 FH723Y5L PG7TG8U4 56JAS1EX ZOC58TOS 7FZ4VSMO TP AE2AJU
RUN7C5XF ZNR5XKGU SOVTHG57

```

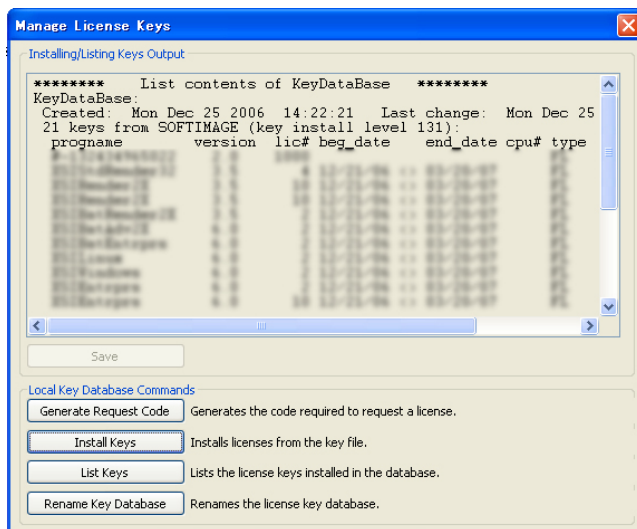
- ⑤ 管理者権限でログインした状態で、[スタート] → [すべてのプログラム] → [SOFTIMAGE Products] → [License Manager]を選択し、ライセンスマネージャを起動します。次に、[Manage Key Database]ボタンを押します。



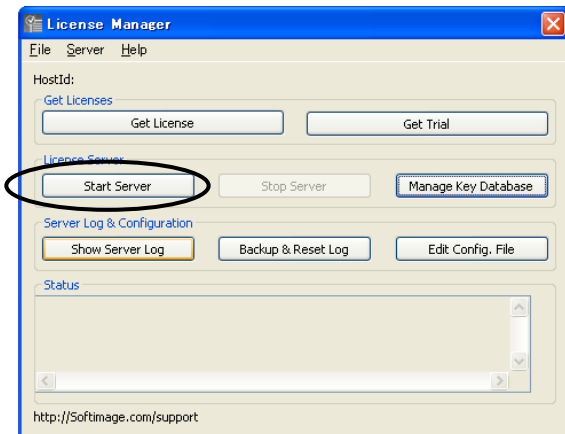
⑥ [Install Keys]ボタンを押し、ライセンスファイルを指定します。



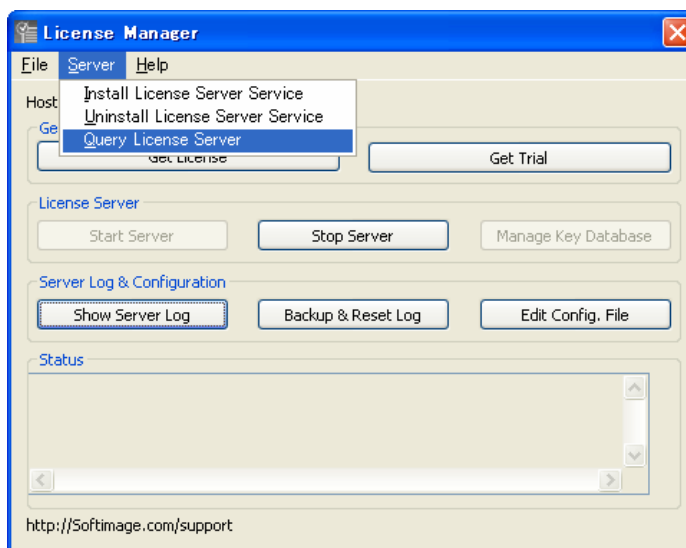
⑦ ライセンスファイルがインストールされ 下記のようなライセンス一覧が表示されます。
 ※ もし、エラーが表示されるようでしたら、そのエラーメッセージをメモの上、弊社Softimageサポートセンターまでご連絡ください。(E-Mail: support@cg.comtec.daikin.co.jp)



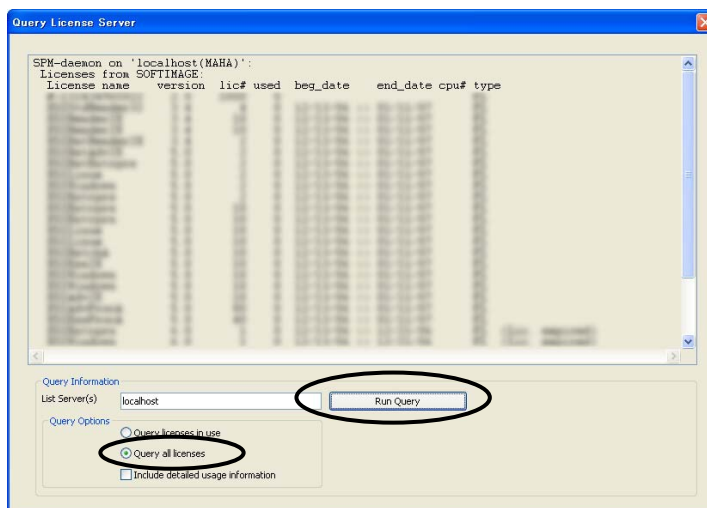
⑧ [Start Server]ボタンを押します。これにより、[Stop Server]ボタンのグレイアウトが外れ、押せる状態になることを確認して下さい。



- ⑨ 正常に動作しているか確認してみます。[Server] → [Query License Sever]を選択して下さい。



- ⑩ List Server の項目にて、ライセンスサーバを指定します。自マシンの場合は”localhost”となります。Query Options にて[Query all licenses]を選択し、[Run Query]を押すと、全てのライセンスが表示されます。



- ⑪ 正常にライセンスがリストアップされたら、ライセンスマネージャ画面に戻り、[File] → [Exit]から License Manager を終了します。
- ⑫ [スタート] → [すべてのプログラム] → [SOFTIMAGE Products] → [SOFTIMAGE XSI 6.01] → [XSI Advanced]または[XSI Essentials]にて、XSI 6.01 の起動を確認してください。

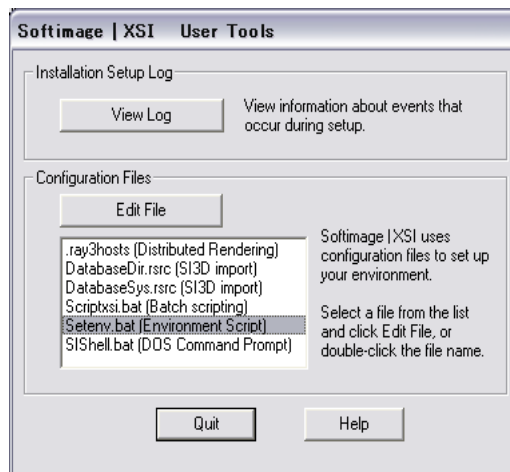
3. SOFTIMAGE | XSI の環境設定

ライセンスのセットアップ、SOFTIMAGE | XSI のインストールが終了したら、SOFTIMAGE | XSI が起動できる状態になっていますが、ここで、必要最小限の環境設定を行っておきましょう。

3-1. ユーザアカウントについて

XSI を起動するユーザーアカウントは、日本語や全角文字を含まないユーザーアカウントを使用して下さい。また、XSI のプロジェクト(データベース)を作成する際も 日本語や全角文字を含まないパスとプロジェクト名をご使用下さい。日本語や全角文字を含んだ場合、各種設定ファイルやワークファイルなど正常にアクセスできなくなる場合があります。グループワークなどで ネットワーク上のファイルを利用する場合は、マシン名にもご注意ください。マシン名に日本語や全角文字が使用されている場合、UNC パスの記述(\\¥¥<マシン名>)にはこれらの文字が入ってしまいますので、ご注意ください。

3-2. 環境変数の設定



- ① [スタート] → [すべてのプログラム] → [SOFTIMAGE Products] → [SOFTIMAGE XSI 6.01] → [UserTools]を選択すると、環境設定用の UserTools が開きます。この中から “Setenv.bat[Environment Script]”をダブルクリックします。SOFTIMAGE | XSI 起動時に適用される環境設定ファイルが開きます。
- ② この中から、基本的な運用に必要な項目として以下の設定を行って下さい。

set _SPM_HOST=XXX

ここで、XXX はライセンスサーバのコンピュータ名が入っています。間違いないかご確認下さい。
(ライセンスサーバが自マシンの場合、“localhost”となっています。必要に応じて変更できます。)

set XSI_USERROOT=%SystemDrive%\users¥¥%USERNAME%

(エディタでは¥ではなく”\”(バックスラッシュ)で表示されています)

XSI v2.0 までは環境変数 HOME が使われてましたが、他のアプリとコンフリクトするケースが確認されたため、XSI_USERROOTに変更されました。XSI が起動されると、XSI_USERROOT で設定されたディレクトリに XSI のワークディレクトリが作られます。¥¥%USERNAME¥¥はログイン名を表す環境変数ですので、ユーザー毎にワークディレクトリが作られることとなります。

例えば、Administrator でログインした場合は、C:\Users\Administrator にワークディレクトリが作られます (Softimage という名前のディレクトリが作られます)。このワークディレクトリにはカスタマイズされたレイアウトやスクリプト、ツールバー、キーマップなどの情報が含まれています。また、C:\Users\Administrator というディレクトリが存在しない場合は強制的に作成してしまいますので、ご注意ください。このままの定義の場合は、ユーザー毎にホームディレクトリを作り、その下にワークディレクトリを作ることになりますが、同じカスタマイズ環境を使いたい場合は C:\Users\common というように固定しても構いません。(アクセス権限に注意して下さい)

set SI_DBDIR=%XSI_USERROOT%

(エディタでは¥ではなく”\”(バックスラッシュ)で表示されています)

環境変数 SI_DBDIR で設定されるディレクトリに DatabaseDir.rsrc ファイルがあれば、SOFTIMAGE | 3D のデータベースリストとして認識します。XSI では、SOFTIMAGE | 3D シーンやモデルの Import、ファイルブラウザの Path ボタンなどに反映されます。この設定では、%XSI_USERROOT%になっていますので、前項の set XSI_USERROOT= で設定された内容と同じになります。固定してしまいたい場合は、任意のディレクトリを直に記述する方法もあります。

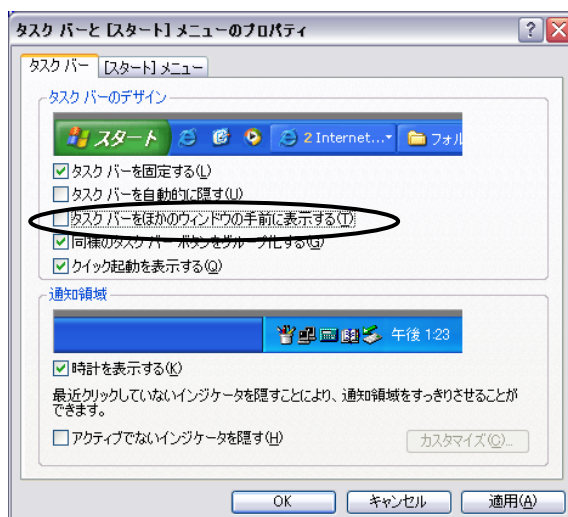
例) set SI_DBDIR=C:\Users\mydir

- ③ 設定が終わったら”Save and Close”ボタンで終了します。

3-3. タスクバーのプロパティの設定

XSI を起動すると、インターフェイス画面が最大表示で立ち上がります。下記のタスクバーの設定をすることで、最大表示時にタスクバーを表示しないようにできます。

- ① “スタート”→”設定”→”タスクバーと[スタート]メニュー”を選択します。
- ② “タスクバーをほかのウィンドウの手前に表示する”をクリックします。



<Web サイトの紹介>

- ダイキン工業株式会社 電子システム事業部 SOFTIMAGE 製品情報提供ページ
<http://www.comtec.daikin.co.jp/DC/>
各種サポート(テクニカル、FAQ、サポートリクエストフォーム等)
<http://www.comtec.daikin.co.jp/DC/prd/si/support/>
バージョン別テクニカルサポート
<http://www.comtec.daikin.co.jp/DC/prd/si/support/xsi/>
XSI FAQ
<http://www.comtec.daikin.co.jp/DC/prd/si/support/faq/>
- アビッドテクノロジー株式会社 SOFTIMAGE 製品情報提供ページ
<http://www.softimage.jp>
各種サポート(ダウンロードガイド、FAQ、インストールガイド、オンライントレーニング等)
<http://www.softimage.jp/support/>
- Softimage 本社 SOFTIMAGE 製品情報、サポート提供サイト(英語)
<http://www.softimage.com>
- SOFTIMAGE|XSI Wiki 技術情報提供ページ(英語)
<http://softimage.wiki.avid.com/>
- XSI base.com(コミュニティ、プラグイン、チュートリアル等)(英語)
<http://www.xsibase.com/>

<メールマガジン>

- ダイキン工業株式会社 SOFTIMAGE News、GUIA-Mail
<http://www.comtec.daikin.co.jp/comtec/mlmag/>
- アビッドテクノロジー株式会社 SOFTIMAGE Press
http://www.softimage.jp/site/softimage_press.html

SOFTIMAGE|XSI Version 6.01 (WindowsXP sp2 版) インストールガイド 簡易版

平成 19 年 5 月 第一版

発行者 ダイキン工業株式会社 電子システム事業部 第2部 ソフトイメージサポートセンター
本書に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

〒108-0075

東京都港区港南2丁目18番1号 JR品川イーストビル10階

ダイキン工業株式会社 電子システム事業部 第2部 ソフトイメージサポートセンター

FAX: 03-6716-0240 E-mail: support@cg.comtec.daikin.co.jp

本書の一部または全部を、無断で複写、転載することは、著作権法の定める範囲で禁じられています。
